

# 平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月5日

上場会社名 イサム塗料株式会社  
 コード番号 4624 URL <http://www.isamu.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北村 健  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務担当 (氏名) 北村 倍章  
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月12日

上場取引所 大

TEL 06-6458-0036

(百万円未満四捨五入)

## 1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	6,273	—	336	—	541	—	327	—
20年3月期第3四半期	6,246	△2.6	168	△53.0	344	△28.4	206	20.0

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
21年3月期第3四半期	31.30	—	—	—
20年3月期第3四半期	19.38	—	—	—

### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
21年3月期第3四半期	13,318	72.2	9,615	73.4	—	—	937.81	—
20年3月期	13,016	73.4	9,561	—	—	—	897.39	—

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 9,614百万円 20年3月期 9,560百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
21年3月期	—	5.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	8,500	2.0	450	63.0	650	36.3	300	14.2	28.70	—

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
 新規 — 社(社名) 除外 — 社(社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 12,000,000株 20年3月期 12,000,000株

② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 1,748,009株 20年3月期 1,347,313株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 10,452,339株 20年3月期第3四半期 10,657,768株

### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成20年11月4日に公表いたしました連結業績予想は、修正していません。上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。上記業績予想に関する事項につきましては、添付資料2ページをご参照してください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、米国サブプライムローン問題に端を発した金融市場の混乱が実体経済へも影響を及ぼし、世界的な景気減速が国内経済にも波及し、円高・株安が企業業績を圧迫するとともに雇用環境が悪化するなど、景気は急速に後退局面を迎えております。

このような環境のもと、当社グループは、環境対応型塗料の国内市場の開拓に積極的な営業活動を展開するとともに、収益性の向上を図るため、業務の効率化や経営構造改革を強力に推進するなど、業績の向上に努めてまいりました。

その結果、当第3四半期累計期間の連結売上高は62億7千3百万円、利益面につきましては、営業利益は3億3千6百万円、経常利益は5億4千1百万円、四半期純利益は3億2千7百万円となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の財政状況は、前連結会計年度末と比較して、総資産は3億1百万円増加して133億1千8百万円、負債は2億4千7百万円増加して37億2百万円、純資産は5千5百万円増加して96億1千5百万円となりました。

総資産の増加の主なものは受取手形3億2千万円、投資有価証券4億4千7百万円、減少の主なものは売掛金1億7千1百万円、保険積立金3億3千5百万円であります。

負債の増加の主なものは買掛金2億8千7百万円、減少の主なものは賞与引当金8千2百万円であります。

また、純資産の増加の主なものは利益剰余金の増加2億2千3百万円の増加、減少の主なものは、自己株式の増加1億2千1百万円となっております。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1億6百万円増加し、15億4千5百万円となりました。

当第3四半期末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により増加した資金は3億2千万円となりました。

その主な要因は、増加した資金では税金等調整前当期純利益5億9千7百万円、仕入債務の増加2億1千4百万円、減少した資金では売上債権の増加1億4千9百万円、法人税の支払額2億5千万円であります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により増加した資金は2千6百万円となりました。

その主な要因は、増加した資金では有価証券および投資有価証券の売却および償還による3億2千3百万円、有形固定資産の売却による3億8千5百万円、生命保険の満期による4億1千5百万円、減少した資金では有形固定資産取得による2億7千万円、投資有価証券の取得による6億9千3百万円であります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により減少した資金は2億4千万円となりました。

その主な要因は、自己株式の取得による1億2千1百万円であります。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年3月通期の見通しにつきましては、市場環境は昨年の秋以降急速に広がりを見せる世界的な景気後退の影響が先行きの不透明感を一層強めております。

利益面につきましても、高騰を続けた原油価格は一定の落ち着きをみせたものの依然先行きは予断を許さない状況であります。

また、一部固定資産の売却に伴い固定資産売却益1億2千8百万円が発生しておりますが、一方では、金融危機の影響を受けて株式市場が大きく下落した結果、投資有価証券評価損4千4百万円を計上するに至っております。

このように当社グループを取り巻く経営を考慮した結果、平成21年3月期（平成20年4月1日～平成21年3月31日）の連結業績予想につきましては、平成20年11月4日に公表いたしましたとおり現時点では据え置きとし、変更しておりません。

なお、業績予想は本資料の作成日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々景気後な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準及び評価方法については、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、次のとおり変更しております。

製品・仕掛品	総平均法による原価法から総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）
商品・原材料・貯蔵品	先入先出法による原価法から先入先出法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）

これにより、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

③リース取引に関する会計基準の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号（平成5年6月17日（企業会計審議会第一部会）、平成19年3月30日改正））及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号（平成6年1月18日（日本公認会計士協会 会計制度委員会）、平成19年3月30日改正））を第1四半期連結会計期間から早期適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。これにより、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

リース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

なお、リース取引開始日が適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、期首に前連結会計年度末における未経過リース料期末残高相当額（利息相当額控除後）を取得価額としてリース資産を計上する方法によっております。

また、少額リース資産、短期リース資産等については、引続き通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を適用しております。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,175,318	3,019,517
受取手形	1,759,465	1,439,834
売掛金	1,044,532	1,215,119
有価証券	—	200,500
商品	357,281	402,063
製品	704,757	590,561
原材料	220,126	188,866
仕掛品	54,647	69,112
貯蔵品	43,755	44,552
繰延税金資産	89,430	105,860
その他	48,772	34,117
貸倒引当金	△90,000	△87,000
流動資産合計	7,408,083	7,223,101
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,672,801	1,671,950
減価償却累計額	△983,563	△948,277
建物及び構築物(純額)	689,238	723,673
機械装置及び運搬具	315,337	304,255
減価償却累計額	△254,831	△241,104
機械装置及び運搬具(純額)	60,506	63,151
工具、器具及び備品	349,598	372,759
減価償却累計額	△301,629	△300,217
工具、器具及び備品(純額)	47,969	72,542
土地	942,194	942,194
リース資産	72,359	—
減価償却累計額	△17,399	—
リース資産(純額)	54,960	—
有形固定資産合計	1,794,867	1,801,560
無形固定資産		
ソフトウェア	16,776	21,451
施設利用権	9,783	10,473
電話加入権	6,121	6,121
リース資産	4,748	—
無形固定資産	37,428	38,045
投資その他の資産		
投資有価証券	2,692,061	2,244,676
保険積立金	1,001,008	1,335,690
繰延税金資産	304,065	298,134
その他	81,403	76,287
貸倒引当金	△1,000	△1,000
投資その他の資産合計	4,077,537	3,953,787
固定資産合計	5,909,832	5,793,392
資産合計	13,317,915	13,016,493

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	432,521	494,805
買掛金	1,700,105	1,412,917
リース債務	26,020	—
未払金	231,042	154,812
未払法人税等	96,006	119,966
未払消費税等	22,788	17,352
前受金	1,905	35
預り金	92,471	56,795
賞与引当金	33,963	115,961
役員賞与引当金	—	12,500
設備関係支払手形	501	11,112
流動負債合計	2,637,322	2,396,255
固定負債		
リース債務	34,041	—
長期預り保証金	240,598	206,371
繰延税金負債	9,962	8,270
退職給付引当金	626,507	646,550
役員退職慰労引当金	154,047	198,454
固定負債合計	1,065,155	1,059,645
負債合計	3,702,477	3,455,900
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,290,400	1,290,400
資本剰余金	1,209,925	1,210,193
利益剰余金	7,708,799	7,486,259
自己株式	△656,017	△535,320
株主資本合計	9,553,107	9,451,532
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	61,323	108,120
評価・換算差額等合計	61,323	108,120
少数株主持分	1,008	941
純資産合計	9,615,438	9,560,593
負債純資産合計	13,317,915	13,016,493

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	6,273,025
売上原価	4,380,877
売上総利益	1,892,148
販売費及び一般管理費	1,556,574
営業利益	335,574
営業外収益	
受取利息	11,199
有価証券利息	30,992
受取配当金	9,348
受取賃貸料	32,130
塗装情報サービス会費	74,605
生命保険満期差益	28,966
その他	20,766
営業外収益合計	208,006
営業外費用	
支払利息	898
支払補償費	1,134
その他	393
営業外費用合計	2,425
経常利益	541,155
特別利益	
固定資産売却益	127,675
特別利益合計	127,675
特別損失	
役員退職慰労金	16,080
固定資産処分損	11,454
投資有価証券評価損	44,106
特別損失合計	71,640
税金等調整前四半期純利益	597,190
法人税、住民税及び事業税	226,105
法人税等調整額	43,891
法人税等合計	269,996
少数株主利益	75
四半期純利益	327,119

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間  
(自 平成20年4月1日  
至 平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	597,190
減価償却費	88,481
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△20,044
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△44,407
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△81,998
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△12,500
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3,000
受取利息及び受取配当金	△51,540
支払利息	898
為替差損益 (△は益)	△2,123
有形固定資産売却損益 (△は益)	△127,675
有形固定資産処分損益 (△は益)	11,454
投資有価証券評価損益 (△は益)	44,106
売上債権の増減額 (△は増加)	△149,044
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△85,412
仕入債務の増減額 (△は減少)	214,293
未払消費税等の増減額 (△は減少)	5,436
その他	133,451
小計	523,566
利息及び配当金の受取額	47,146
利息の支払額	△898
法人税等の支払額	△250,065
営業活動によるキャッシュ・フロー	319,749
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△50,000
有価証券の売却及び償還による収入	200,000
有形固定資産の取得による支出	△270,440
有形固定資産の売却による収入	384,674
投資有価証券の取得による支出	△692,846
投資有価証券の売却及び償還による収入	122,860
保険積立金の積立による支出	△81,844
保険積立金の解約による収入	414,842
その他	△1,028
投資活動によるキャッシュ・フロー	26,218

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	
財務活動によるキャッシュ・フロー	
自己株式の取得による支出	△121,022
リース債務の返済による支出	△19,562
配当金の支払額	△99,573
少数株主への配当金の支払額	△9
財務活動によるキャッシュ・フロー	△240,166
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	105,801
現金及び現金同等物の期首残高	1,439,517
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,545,318

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

当社グループは各種塗料の製造・販売を主事業としておりますが、全セグメントの売上高の合計、営業利益の合計額に占める塗料事業の割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

当第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

本邦以外の国または地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

当第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期末における自己株式の残高は、前連結会計年度末に比べ1億2千1百万円増加し、6億5千6百万円となっております。これは、平成20年8月4日付で自己株式を400,000株取得した結果であります。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)	
区分	金額 (千円)	
I 売上高		6,246,065
II 売上原価		4,472,030
売上総利益		1,774,035
III 販売費及び一般管理費		1,605,560
営業利益		168,475
IV 営業外収益		
1. 受取利息	10,064	
2. 有価証券利息	8,689	
3. 受取配当金	8,991	
4. 受取賃貸料	35,909	
5. 塗装情報サービス会費	75,954	
6. 生命保険満期差益	27,185	
7. その他	14,015	180,807
V 営業外費用		
1. 支払補償費	4,028	
2. その他	847	4,875
経常利益		344,407
VI 特別利益		
1. ゴルフ会員権売却益	11,000	11,000
VII 特別損失		
1. 役員退職慰労金	1,616	
2. 土地売却損	305	1,921
税金等調整前四半期純利益		353,486
法人税、住民税及び事業税	147,791	
法人税等調整額	△847	146,944
少数株主利益		56
四半期純利益		206,486

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)
区分	金額 (千円)
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	353,486
減価償却費	74,496
退職給付引当金の増加又は減少額	60,623
役員退職慰労引当金の増加又は減少額	7,916
賞与引当金の増加又は減少額	△79,701
役員賞与引当金の増加又は減少額	△12,450
貸倒引当金の増加又は減少額	13,000
受取利息及び受取配当金	△27,744
売上債権の増加又は減少額	111,584
たな卸資産の増加又は減少額	△69,848
仕入債務の増加又は減少額	90,730
未収消費税等の増加又は減少額	6,849
未払消費税等の増加又は減少額	17,642
その他	32,357
小計	578,940
利息及び配当金の受取額	24,208
法人税等の支払額	△222,438
営業活動によるキャッシュ・フロー	380,710
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金の預入による支出	△80,000
有価証券の売却又は償還による収入	90,000
有形固定資産の取得による支出	△25,502
有形固定資産の売却による収入	1,270
無形固定資産の取得による支出	△10,300
投資有価証券の取得による支出	△348,041
投資有価証券の売却又は償還による収入	300,000
生命保険の積立による支出	△102,864
生命保険の満期又は解約による収入	386,183
その他	7,819
投資活動によるキャッシュ・フロー	218,565

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)
区分	金額 (千円)
Ⅲ 財務活動によるキャッシュ・フロー	
自己株式の取得・売却による純支出	△1,815
配当金の支払額	△101,782
少数株主への配当金の支払額	△9
財務活動によるキャッシュ・フロー	△103,606
Ⅳ 現金及び現金同等物の増減額	495,669
Ⅴ 現金及び現金同等物の期首残高	1,325,411
Ⅵ 現金及び現金同等物の四半期末残高	1,821,080

(3) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成19年4月1日至平成19年12月31日)

当社グループは各種塗料の製造・販売を主事業としておりますが、全セグメントの売上高の合計、営業利益の合計額に占める塗料事業の割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成19年4月1日至平成19年12月31日)

本邦以外の国または地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間(自平成19年4月1日至平成19年12月31日)

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

6. その他の情報

該当事項はありません。